

<別紙1>

第三者評価結果報告書

① 第三者評価機関名

株式会社プレパレーション

② 施設・事業所情報

| | |
|-------------------------------|------------------------|
| 名称：ピュアリー小杉御殿町保育園 | 種別：認可保育所 |
| 代表者氏名：光山 哲男 | 定員（利用人数）： 60名 |
| 所在地：川崎市中原区小杉御殿町2-119-14 | |
| TEL：044-819-5707 | ホームページ： |
| 【施設・事業所の概要】 | |
| 開設年月日 2019年4月1日 | |
| 経営法人・設置主体（法人名等）：株式会社フェイスフルバース | |
| 職員数 | 常勤職員： 18名 非常勤職員 1名 |
| 専門職員 | （専門職の名称） 名 施設長兼園長 1名 |
| | 主任保育士 1名 看護師 1名 |
| | 保育士 12名 栄養士 2名 |
| 施設・設備 の概要 | （居室数） （設備等） |
| | （居室数） （設備等） |
| | 保育室 5 子どもトイレ 3 |
| | 遊戯室 0 大人トイレ 2 |
| | 更衣室 1 園庭 有() 無(代替園庭有) |
| | 事務室 1 その他 相談室・休憩室 |
| | 調乳室 1 |

③ 理念・基本方針

理念

- ・子ども一人ひとり丁寧に関わり、生きる力の基礎となる保育を目指す
- ・子どもが安心して過ごせる家庭的な保育を目指す

基本方針

- ・子ども一人ひとりの個性を尊重し、基本的な生活習慣を支援する保育
- ・徳育、体育、知育の調和のとれた環境の中で「生きる力」を育てる
- ・自分で考えて行動する力
- ・葛藤を経ながらも失敗や困難に立ち向かおうとする力

④ 施設・事業所の特徴的な取組

自然な形で子どもたちの感受性を伸ばし、五感で感じる保育の充実を目指す。
また、季節の食材を取り入れたクッキング、モンテッソーリなどを通して子どもの伸びる力を育てていく。

⑤ 第三者評価の受審状況

| | |
|---------------|--|
| 評価実施期間 | 2023年6月6日（契約日） ～ 2023年12月14日（評価結果確定日） |
| 受審回数（前回の受審時期） | 0回（ 年度） |

⑥ 総評

◇ 特長や今後期待される点

- ・豊富な保育プログラムを取り入れています
- 保育理念にある、子どもの「生きる力」の基礎となる保育を目指すべく、子どもの

年齢や発育にあわせた保育計画に基づき保育に取り組んでいます。園はモンテッソーリ教育を取り入れており、保育室には年齢に合わせた教具が子どもの手に取りやすい場所に置いてあります。それぞれの子どもが自由に興味関心のある教具を選択し集中して取り組む環境が整っており、お友達が教具を使用している時は、順番を待つなどの社会的ルールを学んでいます。保育者は子どもの自主性や積極性を尊重しながら成長を見守っており、子どもに何が必要かを注意深く観察し適切な保育に努めています。

- ・子ども自ら主体的に遊びを展開できる保育を目指しています

保育理念でもある「生きる基礎となる保育」を保育計画に組み込んでいます。子どもは、遊びを通して成長することから、主体的な遊びの展開ができる保育を目指しています。発達段階に合わせて、環境を構成し、一人ひとりに丁寧に関わるように努めています。言葉の理解ができるようになると、遊びのルールを分かりやすい言葉で伝え、子どもが自発的に遊びを選択して、友だちとの関わりをもてるなど、保育理念のねらいに沿った保育に努めています。

- ・保護者が、子どもの育ちの見通しをたてられるよう園独自の発信に取り組んでいます

毎月のクラスだよりを全学年分、保護者に配布しています。クラスだよりは、子どもの発達段階に合わせたねらいを記載しており、保護者が子どもの発達状況の理解を得られる情報提供の一つになっています。また、違う学年のクラスだよりを見る事は、将来のこどもの姿や、育ってきた過程を振り返る機会になれる事を目的とし、保護者がこどもの育ちの見通しをたてることができ、園の保育者と共に成長を見守っていただける発信方法は、保護者支援のひとつとなっています。

- ・運営状況や組織の改善に向けた取り組みについて、保護者への説明が求められています

園での活動の様子は園だより、クラスだより、ほけんだより、給食だよりなどでお知らせしています。保護者とは日々の子どもの様子など送迎時や連絡アプリなどで情報共有をしています。保護者アンケートでは、施設長や看護師、担任以外の職員も子どもの様子をしっかりと伝えてくれるなど、職員間での連携が図れていると感じている保護者が多く園との信頼関係が築けています。しかし、保護者アンケートでは本部の運営状況や組織の改善に向けた取り組みなどについて意見があり、保護者に丁寧な説明が求められています。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

開園5年目を迎え第三者評価を受審し、客観的な評価に接することができました。自己評価での個々を振り返り、「保育」を見直す良い機会となりました。評価機関、保護者のご意見を真摯に受け止め、子どもにとってより良い保育を提供できるように日々の保育を大切にしていきます。地域に開かれた保育園として信頼を得るとともに、保護者が安心して自らの判断で保育所を選択するお手伝いができればと考えております。

最後になりましたが、第三者評価受審に際し、ご尽力いただいた評価機関の皆様、ご多忙にもかかわらず利用調査にご協力いただいた在園児の保護者の皆様及び職員の皆様に心より感謝申し上げます。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり